

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	21401203	
事務事業名	市営自転車等駐車場管理事業	
予算書の事業名	4. 放置自転車対策事業、7. 市営自転車等駐車場維持管理費	
事業期間	開始年度	平成4年度頃
	終了年度	
	当面継続	
業務分類	1. 施設管理	
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input checked="" type="radio"/> 2. アウトソーシング <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	02040200
部名等	民生部	
課名等	環境安全課	
係名等	生活安全係	
記入者氏名	野崎 努	
電話番号	0765-23-1048	

政策体系上の位置付け	コード2	214019
政策の柱	第2章 安心して健やかにくらすためのまち	
政策名	第1節 生命と財産を守る安全・安心なくらしの確保	
施策名	4. 日常生活の安全確保	
区分	交通安全	
基本事業名	その他	

予算科目	コード3	001020110
会計	一般会計	
款	2. 総務費	
項	1. 総務管理費	
目	10. 交通対策費	

◆事業概要 (どのような事業か)				実績		計画			
市内5箇所にある市営自転車等駐車場の自転車整理業務を含む維持管理業務並びに放置されている自転車等の回収、保管及び処分を行う。		単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) JR魚津駅及び地鉄各駅を利用する自転車等利用者 放置されている自転車等	→ 対象指標	① 自転車等駐車場数	箇所	6	5	5	5	5
			② 収容可能台数	台	780	700	700	700	700
			③ 自転車等駐車場利用者数	人	234,000	210,000	211,000	212,000	213,000
手段	<平成21年度の主な活動内容> 利用者の多いJR魚津駅周辺3箇所の自転車整理業務を(社)魚津市シルバー人材センターに委託している。 放置自転車を53台回収した。内引取りにきた所有者に8台返還、14台をリサイクルのため自転車業者に引き渡し、残り33台を廃棄処分した。蛍光灯が切れた場合は、市で交換している。 *平成22年度の変更点 冬期間は利用が減ることから委託業務時間を12月から2月まで2.5時間から2時間に削減した。	→ 活動指標	① 放置自転車警告票貼付台数	台	181	75	80	80	80
			② 放置自転車回収台数	台	94	53	60	60	60
			③ 放置自転車処分台数	台	61	31	40	40	40
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 自転車等の駐車スペースの整理・確保により、利用者が安心・安全かつ円滑に施設を利用することができる。	→ 成果指標	① 市営自転車等駐車場に関する苦情件数	件	7	3	3	3	3
			②						
			③						
その結果	<施策の目指すがた> 市民一人ひとりが交通安全意識を持ち、事故の少ないまちになっています。		↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
◆この事務事業開始のきっかけ (何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 平成4年頃からJR魚津駅や地鉄各駅において自転車を利用する者に対して、屋根付きの駐車スペースを提供するために始めた。 平成6年から市営自転車等駐車場における放置自転車を撤去するために始めた。		財源内訳	(1)国・県支出金 (千円)	0	0	0	0	0	
			(2)地方債 (千円)	0	0	0	0		
			(3)その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0		
			(4)一般財源 (千円)	1,669	1,023	1,023	1,023		
			A. 予算(決算)額(①~④の合計) (千円)	1,669	1,023	1,023	1,023		
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) 自動車の排気ガスによる地球温暖化の防止、生活環境保全などエコロジー思想の普及により自転車の利用が増加すると思われる。			①事務事業に携わる正規職員数 (人)	2	2	2	2		
			②事務事業の年間所要時間 (時間)	220	220	220	220		
			B. 人件費 (②×人件費単価/千円) (千円)	925	925	925	925		
			事務事業に係る総費用 (A+B) (千円)	2,594	1,948	1,948	1,948		
			(参考) 人件費単価 (円/時間)	4,205	4,205	4,205	4,205		
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) 市民から駐車スペース不足や、自転車の路上駐車について意見があった。		◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄) 県内他市も放置自転車の回収・処分を実施していると思われる。						
			<input type="radio"/> 把握している	→					
			<input checked="" type="radio"/> 把握していない						

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度（事務事業の施策の目指すがたに対する直結度（対象・意図の密接度）とその理由説明）	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 駐車場の整理、放置自転車の回収は、自転車利用者の円滑な駐車場利用に大きく貢献している。
2. 市の関与の妥当性（民間や他の機関でも実施可能な事務事業か）	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input checked="" type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間（市民・企業等）によるサービスの実施が不可能（又は困難）なため、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小（廃止）が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地（現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明）	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地（成果の向上が今後どの程度見込めるか説明）	
なし	説明 成果向上の余地なし。
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無（どう効果が高まるか説明）	
なし	説明 連携することで、今より効果が高まる他の事務事業はない。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地（手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 既に必要最小限の業務時間で実施している。 ※駐車場整理委託業務時間の縮減実績（～H20：3h、H21：2.5h、H22：2h）
7. 人件費の削減の余地（今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 既に必要最小限の業務時間で実施している。

【公平性の評価】

8. 受益者負担の適正化の余地（過去の見直しや社会経済状況等から）	
特定受益者なし・負担なし 適正化の余地なし	説明 使用料を徴収することも考えられるが、わずかな金額設定しかできず、徴収にかかる費用のほうが高くつくと思われる。 適正化の余地なし
9. 本市の受益者負担の水準（県内他市と比較し、今後のあり方について説明）	
<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 低い	説明 徴収費用のほうが高くつくので、受益者負担を取るべきでない。

【必要性の評価】

10. 社会的ニーズ（この事務事業にどれくらいのニーズがあるか）	
<input type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い <input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い <input type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている <input checked="" type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある <input type="radio"/> 目的はある程度達成されている <input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない	
11. 事務事業実施の緊急性	
<input type="radio"/> 緊急性が非常に高い <input type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす <input checked="" type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている <input type="radio"/> 緊急性は低いが、実施しなければ市民生活に影響が大きい <input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない	

★ 評価結果の総括と今後の方向性

1) 評価結果の総括					
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり				
② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 成果向上の余地あり				
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり				
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり				
2) 今後の事務事業の方向性					
<input checked="" type="radio"/> 現状のまま（又は計画どおり）継続実施 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		年度			
年度					
<input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止					
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携 <input type="radio"/> 目的見直し <input type="radio"/> 事務事業のやり方改善					

★改革・改善案（いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか）		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度（平成23年度）	なし コストの方向性 維持
	中・長期的（3～5年間）	なし 成果の方向性 維持

★課長総括評価（一次評価）

市営自転車等駐車場への放置自転車数は減少しているが、地球温暖化対策やエコロジーの観点から今後も利用者の増加が予想される。自転車を利用しての公共交通利用者のために、安心して利用できるように駐車スペースを確保する必要がある。今後、特に学生等の利用者に対し、その適正利用についての啓発を継続していく必要がある。	二次評価の要否 不要
--	---------------

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	21401204	
事務事業名	市営駐車場維持管理事業	
予算書の事業名	1.市営駐車場維持管理費	
事業期間	開始年度	昭 and 47年度
	終了年度	当 面 継 続
	業務分類	1. 施設管理
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input checked="" type="radio"/> 2. アウトソーシング <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	02040200
部 名 等	民生部	
課 名 等	環境安全課	
係 名 等	生活安全係	
記入者氏名	谷口 友美	
電話番号	0765-23-1048	

政策体系上の位置付け	コード2	214019
政策の柱	第2章 安心して健やかにくらすためのまち	
政策名	第1節 生命と財産を守る安全・安心なくらしの確保	
施策名	4. 日常生活の安全確保	
区 分	交通安全	
基本事業名	その他	

予算科目	コード3	001020111
会計	一般会計	
款	2. 総務費	
項	1. 総務管理費	
目	11. 駐車場費	

◆事業概要 (どのような事業か)				実績		計画			
市内2箇所の市営駐車場の週1回の集金業務、駅南駐車場の駐車券の整理と歳入管理及び機器保守点検、緊急時トラブル対応、修繕等の維持管理業務を行う。		単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 市内2箇所の駐車場(魚津駅前広場駐車場、魚津駅南駐車場)	→ 対象指標	① 収容台数(駅前広場駐車場)	台	20	20	20	20	20
			② 収容台数(駅南駐車場)	台	205	205	205	205	205
			③						
手段	<平成21年度の主な活動内容> 駐車場の運営管理を行っている。駅南駐車場の機器保守点検及びトラブル対応は委託している。 駐車料金の回収、魚津駅前駐車場のトラブル対応は、市環境安全課で24時間対応した。 南駐車場の外側が雑草が生い茂り、市民から苦情が数回あり、刈ってすもすぐ伸びて対応に困ったためセメント工事した。 *平成22年度の変更点 商工会議所が建設され、駐車場利用の要望があったため、場所を固定せずに一部商工会議所利用者の駐車場として利用させる。 覚書を取り交わし料金は、年2回で納めてもらうこととした。満車になるようであれば、利用の検討必要。	→ 活動指標	① 駐車料金(駅前広場駐車場)	円	491,000	303,500	350,000	350,000	350,000
			② 駐車料金(駅南駐車場)	円	19,957,850	17,903,730	18,500,000	18,700,000	19,000,000
			③ 延べ利用台数	台	66,134	59,133	60,000	61,000	62,000
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 駐車場の適正な運営と利用の円滑化を図る。	→ 成果指標	① 1日あたりの利用台数	台	181	162	165	170	175
			② 苦情件数	件	4	3	2	2	2
			③						
その結果	<施策の目指すすがた> 市民一人ひとりが交通安全意識を持ち、事故の少ないまちになっています。		↑成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 昭和47年度からJR魚津駅周辺における迷惑駐車対策として利用者の利便性を図るために駅前広場駐車場を設置したことから。駅南駐車場は、専売公社用地を市が買い取り、市民の駐車場として開始した。		財源内訳	(1)国・県支出金(千円)	0	0	0	0	0	
			(2)地方債(千円)	0	0	0	0		
			(3)その他(使用料・手数料等)(千円)	2,079	2,226	2,226	2,226	2,226	
			(4)一般財源(千円)	0	0	0	0		
			A. 予算(決算)額(①~④の合計)(千円)	2,079	2,226	2,226	2,226	2,226	
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) JR魚津駅周辺も景観が整備され、市内外からの多くの人で賑わうようになり、駐車場の需要が大きくなってきた。平成15年10月に駅南駐車場(205台収容)を新設した。			①事務事業に携わる正規職員数(人)	2	2	2	2	2	
			②事務事業の年間所要時間(時間)	400	400	400	400		
			B. 人件費(②×人件費単価/千円)	1,682	1,682	1,682	1,682	1,682	
			事務事業に係る総費用(A+B)(千円)	3,761	3,908	3,908	3,908	3,908	
			(参考)人件費単価(円@時間)	4,205	4,205	4,205	4,205	4,205	
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) なし		◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)						
		○ 把握している	県内他市にも市営駐車場があるか把握していない。						
		● 把握していない							

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度（事務事業の施策の目指すがたに対する直結度（対象・意図の密接度）とその理由説明）	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 魚津駅前周辺における駐車場の利用環境を整備いじっていくことは道路交通環境の整備につながり、施策に直結する。
2. 市の関与の妥当性（民間や他の機関でも実施可能な事務事業か）	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間（市民・企業等）によるサービスの実施が不可能（又は困難）なため、市による実施が妥当 <input checked="" type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小（廃止）が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地（現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明）	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地（成果の向上が今後どの程度見込めるか説明）	
あり	説明 魚津駅前駐車場は機器の故障が多く、今後、駅前広場の利用計画の中でその在り方について検討する必要がある。その検討により駅前よりよい交通環境整備が見込まれる。
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無（どう効果が高まるか説明）	
なし	説明 連携することで、今より効果が高まる他の事務事業はない。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地（手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 既に必要最小限の業務時間で実施している。
7. 人件費の削減の余地（今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明）	
なし	説明 既に必要最小限の業務時間で実施している。

【公平性の評価】

8. 受益者負担の適正化の余地（過去の見直しや社会経済状況等から）	
特定受益者あり・負担あり 適正化の余地なし	説明 魚津駅南駐車場の使用料は、1日300円は、近隣の駐車場と同水準であり、値上げの状況にない。
9. 本市の受益者負担の水準（県内他市と比較し、今後のあり方について説明）	
<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 低い	説明 平均的な水準である。

【必要性の評価】

10. 社会的ニーズ（この事務事業にどれくらいのニーズがあるか）	
<input type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い <input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い <input type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている <input checked="" type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある <input type="radio"/> 目的はある程度達成されている <input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない	
11. 事務事業実施の緊急性	
<input type="radio"/> 緊急性が非常に高い <input type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす <input checked="" type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている <input type="radio"/> 緊急性は低い、実施しなければ市民生活に影響が大きい <input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない	

★ 評価結果の総括と今後の方向性

1) 評価結果の総括					
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり				
② 有効性	<input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 成果向上の余地あり				
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり				
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり				
2) 今後の事務事業の方向性					
<input type="radio"/> 現状のまま（又は計画どおり）継続実施 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		年度			
年度					
<input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止					
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携 <input type="radio"/> 目的見直し <input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善					

★改革・改善案（いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか）		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度（平成23年度）	なし コストの方向性 維持
	中・長期的（3～5年間）	新幹線の開通により魚津駅については第三セクターによる運営が予想されることから関係機関による駅前整備計画の中で検討を行う。 成果の方向性 向上

★課長総括評価（一次評価）

魚津駅南駐車場は開設以来、年々利用者が増加している。今後も安心・安全に利用できることと市民等の公共交通の利用を推進していくためにも必要な事業である。駅前駐車場については、今後、駅周辺の整備計画に併せてその在り方について検討する必要がある。	二次評価の要否 必要
---	---------------

★経営戦略会議評価（二次評価）

評価結果の総括と今後の方向性	
----------------	--